

平成27年第10回教育委員会臨時会（秘密会）

開会年月日 平成27年7月16日（木）
場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 教育長 河 口 浩
同 委 員 外 松 和 子
同 委 員 内 藤 幸 子
同 委 員 安 藏 誠 市
同 委 員 長 島 良 介

議 題

1 議案

(1) 議案第35号 特別支援学級教科用図書の採択について

2 答申

(1) 中学校教科書協議会からの答申について

(2) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

開 会 午前 10時00分
閉 会 午前 11時21分

会議に出席した者の職・氏名

教育振興部長	中 村 哲 明
こども家庭部長	堀 和 夫
教育振興部参事教育総務課長事務取扱	岩 田 高 幸
同 教育指導課長	堀 田 直 樹
こども家庭部参事子育て支援課長事務取扱	小 暮 文 夫

(1) 中学校教科書協議会からの答申について

教育長

答申(1)番から始める。

中学校教科用図書については、本年4月に教科書協議会を設置し、平成28年度から使用する図書についての調査研究をお願いした。そこで、この教科書協議会からの答申内容について説明を受けたい。教科書協議会会長ならびに教科書協議会委員の入室をお願いする。

田中中学校教科書協議会会長（石神井中学校長）
渡辺中学校教科書協議会委員（中村中学校長）
勝亦中学校教科書協議会委員（関中学校長）
佐野中学校教科書協議会委員（田柄中学校副校長）
大沼中学校教科書協議会委員（南が丘中学校副校長）
山田中学校教科書協議会委員（大泉西中学校副校長） 入室

教育長

田中会長はじめ皆さん、おいでいただきありがとうございます。
早速、田中中学校教科書協議会会長から答申内容の説明をお願いします。

中学校教科書協議会会長

教科書協議会の会長を仰せつかっている石神井中学校校長の田中である。よろしくお願ひする。

それでは答申の説明をさせていただきます。

去る4月15日、練馬区教育委員会から諮問をいただいた。平成28年度から使用する中学校教科用図書について、私ども教科書協議会では慎重に調査研究を重ね、本日7月16日に答申として提出させていただきました。

今回対象となる教科用図書は、文部科学大臣による検定を経て、平成27年4月に文部科学省発行の教科書目録に登載された図書であり、総数66種129点に上る。

答申に当たっては、まず教育委員会の「練馬区立学校教科用図書採択要綱」の規定に基づき、新規検定本の教科用図書について、調査委員会に対して調査研究の依頼をさせていただいた。この調査委員会の調査研究に加え、平成27年6月、東京都教育委員会発行の「平成28年～31年度教科書調査研究資料」を参考とし、これらの図書を実際に手に取りながら慎重に調査研究の内容を整理した。

資料2の1ページをお開きいただきたい。

諮問では、検定済みの教科用図書について、「中学校学習指導要領」に示された各教科・領域の「目標」等を勘案し答申することとのであったので、種目教科ごとに学習指導要領における目標等と、今回の教科用図書作成の傾向について説明させていただく。

国語については、国語を適切に表現し理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする等が目標として示されている。

各社とも「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域と、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に対応した教材を効率よく配列した構成になっている。また、生徒の興味・関心を引き出す言語活動や読書活動の設定を通し、3領域の力を育む工夫がなされている。

書写では、各社とも字形や字配りなど基本的な内容を、視覚的な要素を多く取り入れ、わかりやすい表記で示す工夫、伝統的な文字文化、手書き文字の意義や魅力が伝わるような工夫がなされている。また、学習の流れをわかりやすく示し、書写の学習内容を他教科や生活の中に生かせるような構成となっている。

社会(地理的分野)については、「日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土および世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させること」等が目標として示されている。内容は、「世界の様々な地域」、「日本の様々な地域」の2点として、世界と日本の諸地域の地域的特色について学ぶ地誌的な学習を充実させるため、各社とも地域の取り上げ方等について工夫が見られた。

社会(歴史的分野)については、「歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる」等が目標として示されている。

学習指導要領における「歴史の捉え方」「古代までの日本」「中世の日本」「近世の日本」「近現代の日本と世界」の5つの内容について、我が国の歴史の大きな流れを理解し、歴史について考察する力や説明する力を身につけさせるため、資料や写真、図表なども適宜配置し、より具体的に理解できるように学習の焦点を明示するなどの工夫が見られた。

社会(公民的分野)については、「個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく理解させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う」等が目標として示されている。「私たちの現代社会」「私たちと経済」「私たちと政治」「私たちと国際社会の諸課題」の4つの内容について、各社とも地理的分野および歴史的分野の学習の成果を活用しながら、公民的分野の目標に合った指導ができるように工夫されている。

数学については、数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し、表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てるという目標が示されている。各社とも、数学の必要性などを実感できるような記述や、生活に生かす場面を多く設定するとともに、興味・関心を喚起し、学習したことを深め、広げられるような発展的な内容の記述にも配慮がなされている。また、基礎的知識の定着を図るため、学習した内容の振り返りを行う記述や反復問題、補充課題を設け、生徒が自分でも取り組めるように工夫されている。

理科については、自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うという目標が示されている。各社とも、生徒が目的意識を持って観察・実験を主体的に行うとともに、観察・実験の結果を考察し、表現する学習活動がより進むように工夫されている。また、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるように、日常生活や社会との関連に関する内容を多く取り上げている。

音楽については、「表現および鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」という目標が示されている。歌唱の共通教材の取り扱いや、和楽器で簡単な曲を表現することを通して、伝統文化の良さを味わ

わせることなど、生徒が音楽文化について理解を深められるように工夫されている。また、各社とも、生徒の特性等に応じた多様な学習活動ができるように工夫されている。

美術については、「表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」という目標が示されている。

各社とも、「表現」に関しては「描く活動」と「つくる活動」について各内容を関連づけられるようにし、「鑑賞」の題材に関しては見開きページを活用して作品を大きく取り上げるなど、作品の魅力を伝える工夫が見られる。

保健体育については、「心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる」ことが目標として示されている。

各社とも、「体育分野」では「体づくり運動」をはじめ、運動の楽しさを味わうとともに、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たす態度を育てる工夫がなされている。「保健分野」でも、喫煙、飲酒、薬物乱用の心身に対する影響、応急手当の方法などについて、図や写真を活用して生徒の理解を深める工夫がなされている。

技術・家庭科については、「生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる」ことが目標として示されている。

各社とも、「技術分野」においてはものづくりなどの基礎的な知識と技術を習得できるように工夫され、「家庭分野」においても生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得できるように工夫されている。

英語については、「外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うこと」が目標として示されている。

各社とも、単元のまとめとして4技能を総合的に育成するための活動を設定している。また、can doリストを意識できるような工夫が見られる。

以上のとおり、学習指導要領に示されている各教科の「目標」を踏まえるとともに、「練馬区立学校教科用図書採択要綱」および「練馬区立学校教科用図書採択要綱事務施行細目」に基づき調査研究を行った。

教科書協議会の報告は、答申書の別紙1の1ページから39ページまで、種目ごとに記載しているのでお目通しいただきたい。

最後に、協議経過についてご説明する。答申書の最後のページをお開き願いたい。

平成27年度教科書協議会の開催状況および委員は記載のとおりである。

以上のとおり答申させていただいた。よろしくお取り計らいいただくようお願いする。

教育長

ありがとう。それでは、今、ご説明をいただいた答申内容について各委員からご意見、ご質問をお出しいただければと思うがいかがか。

内藤委員

田中会長をはじめ各委員の方々には、大変お忙しい中、ご審議をいただいて本当にありがとうございます。ただいま答申いただいたものを、この後もしっかりと読んで参考にさせていただきたいと思う。

1つだけ質問であるが、前回の教科書採択のときには、学習指導要領が変わったということでもかなり教科書観が変わったという思いがしたが、今回は学習指導要領の変更はないわけである。その中で、改めて各教科書会社がいろいろ工夫してきているなどというのは私も感じているが、何か教科ごとに、よりこのようになったという特徴的なことがあったら教えていただきたい。

中学校教科書協議会会長

教科書協議会会長の田中である。私の専門は社会科であるが、練馬区の学力調査を何年かやらせていただいた。社会科の課題は幾つかあるが、例えば重要語句をしっかりと覚えて、漢字で正確に書けない生徒が多いということがわかった。あるいは、長文で説明する問題を最初から諦めて書かない生徒もいた。また、資料を活用して、そこから何が言えるのかという設問も練馬区の生徒は弱い部分があった。

今回、社会科の教科書を見せていただくと、単元の終わりに振り返りがあり、そこで正しく重要語句を押さえさせるものや、単元ごとに課題があり、それについて自分で考えをまとめる、あるいは巻末にはレポートの作成などの具体的な例も載っている。きちんと表現させる力というあたりも意識して、各教科書会社には考えていただいていると実感した。

教育長

内藤委員、よろしいか。

内藤委員

もしほかの教科でもそのような特徴的なことがあれば教えていただきたい。感想でも構わないので。

中学校教科書協議会副会長

教科書協議会副会長の勝亦である。理科を担当している。理科においては、今使っている教科書は平成24年度版であるが、23年3月下旬に東日本大震災が起き、そのことについても若干ふれている。これに対し、今年度、28年度版に関しては、かなり大震災を意識した部分がある。

まず1つは大地の変化や天気とその変化、また3年生の最後にある「科学技術と人間」という部分で、地震や災害についてのコラムなどが充実している。やはりそれは東日本大震災を経て、その4年後の教科書ということで、防災教育や減災教育など、災害が起きたときにできる限り被害を少なくするためには、やはり理科的な知識も非常に大事だということを各教科書会社は意識しているようだ。

中学校教科書協議会 渡辺委員

保健体育を担当している。保健体育の教科書は、2020年のオリンピック・パラリンピックを見据えた記述をしている教科書がふえてきた。また、心肺蘇生法のAEDを取り扱っている教科書もかなりふえてきている。

中学校教科書協議会 大沼委員

南が丘中学校副校長の大沼である。英語を担当した。英語では、会長からも説明があったようにcandolistとして、読む・聞く・話す・書くという4技能に関して、できるようになったということを單元ごとに振り返る、または年間を通して振り返るということを教科書に記載しているという工夫が見られた。また、授業の中で実践活動としてアクティビティ、ペアワークや言語能力を高めるような活動の材料となるようなものが多く記載されていることが特徴かと思う。

中学校教科書協議会 佐野委員

田柄中学校副校長の佐野である。担当教科は技術・家庭である。技術科では理科と同様、東日本大震災に関する記述が非常に各社工夫されてふえてきていると思う。家庭科においては、安全面も同様であるが、食育、特に地産地消であるとか、具体的な実物大の食物の写真するなど、視覚に訴えるような工夫がさらにされていると感じた。

中学校教科書協議会 山田委員

国語を担当した。今回見たところ、全体的にバランスよくまとめられているが、伝え合うという言語活動的なところが非常に重要視されている。今回、学習指導要領の改訂はないが、次回の学習指導要領の改訂でもよく話題になっているアクティブラーニングなど、話し合い活動について非常にわかりやすく、具体的な活動例も含め、どの会社も力を入れて捉えられている。

読み物教材についてはオーソドックスなものが非常に多く、落ちついて、安心して見られる内容であるが、生徒同士の伝え合い活動にどの会社も力を入れているという印象である。

教育長

皆さん、ありがとう。
ほかの委員はどうか。

外松委員

ざっくばらんにお伺いしたい。調査研究のあり方が今年度は変わった。区民の中にも、この方法だと現場の先生の声が届くのかという思いを抱いている方もおられるようである。その辺は、担当された先生方はどのように感じているのか。ご意見があればぜひお伺いしたい。

中学校教科書協議会会長

会長の田中である。学校現場の中でも、教員全員に意識を持たせるという部分についてはどうなのだろうという意見もあった。しかし、今回やらせていただいて、各学校からの意見書を一つの視点として各調査委員会はしっかりと報告書としてまとめていただいたというのが私の実感である。

実際には、本区には練馬区立中学校教育研究会という任意団体として活動している研究会がある。そこを次回はもっと活用できればと思う。時間を確保しなければいけない部分はあるが、例えば、社会科であれば社会科の教員が大半集まるので、教科ごとの研究として練馬区立中学校教育研究会の会合で意見交換をして、それを学校に持ち帰って報告を上げるというような段階を一つ置くと、さらに広まっていくかと、私の考えであるが思っている。

教育長

ほかに各委員からご意見、ご質問はあるか。よろしいか。

長島委員

去年、小学校の教科書採択には携わったが、私は中学校の教科書採択は初めてである。中学校の教科書はさらに文字数が多く、内容を全部理解していくのが非常に難しかった。一通り拝見したが、よろしければ教科ごとに、先生の立場から、こういうところを見てほしいという点があれば教えていただきたい。

教育長

先ほどの話にも重なると思うが、よろしければ順番にどうぞ。

中学校教科書協議会会長

田中である。例えば社会科であれば、どの教科もそうだと思うが、いろいろな資料が各教科書に載っている。その資料も各社それぞれ、単元ごとに、ここで教えなければいけない最低限必要なものということ載せると思う。私が教員であれば、探究心をかき立てるような資料、あるいは「えっ」と思わせるような資料があると、子供たちを引きつけやすいと思う。

中学校教科書協議会副会長

理科についてである。小学校と中学校の理科の違いというと、小学校は定性的な理科、ところが中学校になると定量的、つまり実験・観察をしてデータをとって、それを数値化して分析し、考察をするという一連のことが多くなる。このため難しさを感じることもある。やはり一番大事な点は、理科にいかに関心・興味を持たせるかである。理科離れという言葉も、最近ではあまり聞かなくなったが、そういった子供たちの意識がある。

各社とも、理科が日常のいろいろな生活・技術に役立っているのだということを、写真つきであったり、こういう仕事もあるなどキャリア教育との関連も含めていろいろ工夫されている。その点は非常にいいことだと思う。やはり、まずは興味・関心を持たせ

る、そういった教科書でなければいけない。そのあたりを見ていただければと思う。

中学校教科書協議会 渡辺委員

保健体育についてである。オリンピック・パラリンピックについての記載があるかないかをまず見ていただければと思う。また、今は薬物乱用防止が話題になっている。他には、心肺蘇生法、先ほどお話しさせていただいたAEDである。

保健体育は体育と保健に分かれているので、学習の目当てがはっきり記載されていて、それに基づいて文章が整っているか、わかりやすい図式があるか、生徒の興味・関心とともに思考力、判断力を養っていけるような教科書かどうかを見ていただきたい。

中学校教科書協議会 大沼委員

英語科を担当した大沼である。英語の授業の中では、先ほどアクティビティという言葉を使ったが、現場の教員もさまざまな工夫をする。教科書を使いこなしながら、または自作の教材をつくりながら行うが、その中でも教科書の中で記載されているアクティビティ活動は、こういうふうに授業を展開できるであろうというイメージがしやすい。子供たちは、教員に与えられればそれを行うが、子供たちも教科書を見て、恐らくこの単元ではこういう活動を行うのだらうということを考える。また、英文が子供たちの発達段階に応じて、読み物として充実しているかというあたりを見ていただきたい。

中学校教科書協議会 佐野委員

技術・家庭科についてである。最近の子供たちは生活体験が非常に希薄になっている。そこで、イラストよりは写真、その写真も縮小されているものよりは実物大により近いもの、要は本物をイメージできるかという観点で見ていただければと思う。

中学校教科書協議会 山田委員

山田である。国語は、ほかの5教科と少し性質が違う。漢字や語句、文法はあるが、それ以外には覚えるというようなことはない。語句などは別にして、例えば教科書を見てここは覚えなければというものが無い。

そこで、私もいつも授業でやっていたところであるが、子供がそれを見て読みたくなる、考えたくなるという発達段階に一番ふさわしいような題材を使っているかを見ていただきたい。小説でも評論文でもいいが、難し過ぎたら子供は読む気がしない。教員がリードして読ませてはいくが、題材に尽きると思う。子供がその年代で読みたくなるような題材をきちんと配列しているかどうかということが重要である。

教育長

大変丁寧な回答をありがとう。

そろそろよろしいか。ご質問、ご意見はないか。

先ほど内藤委員からもあったが、大変お忙しい中、教科書協議会という、ある意味では重責だったと思うし、なかなか難しいところもあったと思うが、ご尽力をいただき心から感謝申し上げます。本当にありがとう。

それでは、各委員からの質問も終了したので、田中会長ならびに教科書協議会委員の皆様にはご退室をお願いします。ほかの委員さんにもぜひよろしくお伝えいただきたい。ありがとう。

田中中学校教科書協議会会長・中学校教科書協議会委員一同 退室

(2) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

教育長

続いて答申(2)番に移る。

特別支援学級で使用する教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条および学校教育法附則第9条の規定により、毎年度採択替えができることになっている。

このため、本年4月に特別支援学級教科用図書の採択に係る調査委員会を設置し、調査・検討をお願いした。こちらも答申をいただいたので、順番に調査委員会からの答申内容についての説明を受けたい。

小学校・中学校それぞれの調査委員会委員長の入室をお願いします。

清水小学校特別支援学級調査委員会委員長（大泉学園小学校長）
山根中学校特別支援学級調査委員会委員長（谷原中学校長） 入室

教育長

それでは最初に清水小学校特別支援学級調査委員会委員長から答申内容の説明をお願いします。

小学校調査委員会委員長

小学校特別支援学級調査委員会委員長の、大泉学園小学校校長の清水である。小学校特別支援学級教科用図書の調査研究について説明させていただく。

4月15日に教育委員会から諮問を受けた。平成28年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、小学校特別支援学級調査委員会は、本日7月16日に教育委員会に答申を提出した。

以下、この答申について説明させていただく。資料をごらんいただきたい。

小学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級設置各校に設けられた各校研究会に対して、学校教育法附則第9条に係る図書の研究を依頼した。また、4月から3回の会議を開催し、各校研究会からの報告書などを参考に、慎重に研究・検討を行ってきた。

1ページをごらんいただきたい。

記書きの1、調査研究を行った図書数についてである。各学校の意向を踏まえて112冊の図書を調査研究した。継続採択候補図書101冊、新規採択候補図書11冊である。種目ごとの冊数および図書名等の詳細については3ページ以降に掲載しているのでお目通しいいただきたい。

次に記書きの2、調査研究における意見等についてである。図書の調査研究に当たっては、各研究校の報告を参考に、児童にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて新規採択候補図書について説明する。

1番、「ゆっくり学ぶ子のための国語4」。文字は大きく、読みやすくなっている。紙質もよく、扱いやすい大きさである。詩や物語の文学教材と説明文教材の読み、作文や詩の表現力、文法教材が広く示され、簡単な読み書きができる児童の次の段階として、やや高度な内容になっている。

2番、「スキンシップ絵本 あいうえお」。イラストの色遣いがよく、見やすくなっている。児童に身近なものや生き物などがデザイン化した絵で描かれ、親しみやすく、児童が興味を持って学習を進めることができる。ひらがなを黒の太い線で示しており、見やすくなっている。

3番、「スキンシップ絵本 漢字えほん」。イラストの色遣いがよく、見やすくなっている。児童に身近なものや生き物などがデザイン化した絵で描かれ、親しみやすく、児童が興味を持って学習を進めることができる。1ページに1つの漢字の読み・書き、使い方や成り立ちについて示してある。

4番、「しりとりにしましょ たべものあいうえお」。食べ物の絵がおもしろく、擬人化してカラーで描かれており、親しみやすくなっている。児童の興味を引きやすく、言葉遊びの指導に適している。「あ」から始まり、濁音、半濁音を含み、「ん」まで全ての文字を使ったしりとりになっている。

5番、「ふしぎをためすかがく図鑑1 いきもののしいく」。全ページカラーで、写真や絵を多く使用し、飼育方法や野生での暮らしについてわかりやすく解説してある。昆虫、水の生き物、動物、鳥が項目別に分かれていて、飼育や観察のポイントが簡潔にまとめられている。漢字には全てふりがなが振られている。

6番、「ふしぎをためすかがく図鑑2 しょくぶつのさいばい」。全ページカラーで、植物の姿を大きな写真や絵を多く使用して説明している。草花と野菜に分かれ、栽培方法や収穫時期のポイントが簡潔にわかりやすくまとめられている。漢字には全てふりがなが振られている。

7番、「ふしぎをためすかがく図鑑3 かがくあそび」。全ページカラーで、実験方法などを写真や絵でわかりやすく説明している。水、色、空気、音、鏡・レンズ、静電気・電池、磁石の7つのテーマで構成し、1つのトピックを一、二ページにまとめている。身近な題材を使って遊んだり実験したりする様子を示し、児童が科学に対する興味・関心を持ちやすくなっている。

8番、「ふしぎをためすかがく図鑑4 しぜんあそび」。全ページカラーで、草や花、生き物、川や海、雲・風・雪での遊びや観察方法について、写真や絵を用いてわかりやすく説明されている。ページの下に安全面での配慮事項が記載されている。身近な題材を使用した遊びや活動を通じて、自然に対する興味・関心を持って学習を進めることができる。

9番、「うたえほん」。なじみのある日本や世界の童謡や民謡が26曲紹介されている。曲の印象に合わせたイラストや情景が全ページに描かれており、児童の歌の世界へ

の理解を助けるものである。楽譜とは別に、歌詞がほぼ平仮名で、また、最低限の漢字にはふりがなが振ってあり、歌詞を理解しやすくなっている。

10番、「ひとりでできるもん4 うれしいごはん・パン・めん料理」。御飯、パン、麺の基礎的な知識の解説とともに、それぞれを使った料理の材料、調理の手順を見開き2ページで、写真や絵と文章で示してある。親しみのある料理が取り扱われている。調理の手順の説明文の文字、絵、写真がやや小さいかなというところがあった。

11番、「ひとりでできるもん6 だいすきおやつ作り」。和風、洋風、中華風の16種類のおやつ材料、調理の手順を見開き2ページで、写真や絵と文章で示してある。焼く、冷やす、蒸す、揚げるの調理方法が示されているが、中でもオーブントースターやホットプレートで手軽につくれるものが多く紹介されている。調理の手順の説明文の文字、絵、写真がやや小さいところがある。

次に21ページ、別紙2をごらんいただきたい。小学校特別支援学級調査委員会の調査経過等である。また参考資料として、各校研究会の研究報告である「平成28年度使用小学校特別支援学級教科用図書研究報告一覧」を添付している。お目通しいただければと思う。

以上で小学校特別支援学級調査委員会の答申説明を終わる。

教育長

続いて、山根中学校特別支援学級調査委員会委員長から答申内容の説明をお願いする。

中学校調査委員会委員長

中学校特別支援学級調査委員会委員長、谷原中学校校長の山根である。それでは中学校特別支援学級教科用図書の調査研究について説明をさせていただく。

4月15日に教育委員会から諮問を受けた。平成28年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、中学校特別支援学級調査委員会は、本日7月16日に教育委員会宛に答申を提出した。

以下、この答申について説明をさせていただく。資料をごらんいただきたい。

中学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級設置各校に設けられた各校研究会に対し、学校教育法附則第9条に係る図書の研究を依頼した。また、4月から4回の会議を開催し、各校研究会からの報告書等を参考に、慎重に研究・検討を行ってきた。

では1ページをごらんいただきたい。

記書きの1、調査研究を行った図書数についてである。各学校の意向を踏まえ58冊の図書を調査研究した。継続採択候補図書51冊、新規採択候補図書21冊である。種目ごとの冊数および図書名等の詳細については7ページ以降に掲載してあるのでお目通しいただければと思う。

次に記書きの2、調査研究における意見等についてである。図書の調査研究にあたっては、各研究校の意見を参考に、生徒にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し調査研究した。

続いて新規採択候補図書について説明する。

1、「新レインボー漢字読み書き辞典」。学年別に漢字を分けて、使いやすく解説して

いるが、辞書としては使いづらいものがある。全ページカラーでイラストがついていて読みやすいが、教科書として使用する際は工夫が必要である。

2、「新レインボー日本語辞典 写真でわかることわざ辞典」。1ページの文字情報の量が適当であり、ふりがなが振られており読みやすい。ことわざの表す意味が大きな写真やイラストによって具体的に示されている。

3、「新レインボー日本語辞典 写真でわかる四字熟語辞典」。四字熟語の表す意味が大きな写真やイラストによって具体的に示されていて、視覚的に意味をつかみやすい内容となっている。1つの四字熟語が「意味」「解説」「使い方」で構成されている。

4、「新レインボー日本語辞典 写真でわかる慣用句辞典」。1ページの文字情報の量が適当であり、読みやすい内容である。慣用句の表す意味が大きな写真やイラストによって具体的に示されていて、意味をつかみやすい内容になっているが、教科書として使用する際は工夫が必要と思われる。

5、「例解学習国語辞典」。取り上げる言葉（見出し語）は太字で示され、特に重要な基本語句は赤で記されている。基本的な漢字には筆順や書き方の注意も示されている。

6、「ちびまる子ちゃんの表現力をつけることば教室」。あいうえお順、テーマごとに言葉が載っていてわかりやすい内容である。言葉の意味をイラストやマンガを用いて説明しており、親しみやすい内容となっている。内容が部分的なため、教科書として使用する際は工夫が必要である。

7、「読んで見て楽しむ日本地図帳」。地方県別の地図は実写真カラーで見やすくなっている。1ページに1つの県の地図と特色ある産物等がまとまっており、国内の勉強をする際には役に立つ。地図帳であるため、教科書として使用する際は工夫が必要である。

8、「これでわかる社会小学5年」。教科書に沿って細かく説明されている。まとめポイントがわかりやすくまとめられている。小学校5年生用の参考書であり、中学校の教科書として使用する際は配慮が必要である。

9、「京都の世界遺産」。日本の世界遺産の図鑑として、写真が大きく使われている。修学旅行前の調べ学習につなげることもできる。文字での説明が多く、内容や表現に難しいところがあるので、教科書として使用する際は工夫が必要である。

10、「からだ不思議図鑑」。漢字にひらがなが振ってありわかりやすい。身近な話題で興味や関心を引き出す内容であり、生活に根付いた体の働きがわかりやすく示されている。内容は体に関することだけなので、教科書として使用する際は工夫が必要である。

11、「理科実験資料集」。カラー写真図版が中心になっていて見やすく、生徒の興味を引きやすい。写真や絵が中心であるため、教科書として使用する際は工夫が必要である。

12、「くらしを科学する」。暮らしの中の「なぜ？」と思う身近な疑問を取り上げて説明し、結果を文字であらわしている。用いられている科学の用語について細かな説明がないものが多いため、教員による補足説明が必要である。写真を多く用いて説明しているので、視覚的に理解しやすい内容になっている。

13、「MYSONG 5 改訂版」。作曲者のメッセージ、コメントが書かれていて、作曲者の気持ちが伝わりやすい。基礎練習についてわかりやすくまとめられているが、細かくて見にくい面もあるため配慮が必要である。

14、「コーラスフェスティバル」コンクール行事に使われる曲が多く載っている。内容は多いが、細かくて見にくい面もあるため配慮が必要である。

15、「子どもの生活6 じょうぶなからだになれるよ！」説明文が主にひらがなであり、漢字にはふりがなが振られている。健康管理につながる具体例や日常生活の中の健康の様子を、大きな絵や文字で説明してある。絵本のようになっていて幼い印象を与える可能性があるため、配慮が必要である。

16、「子どもとマスターする49の生活技術」イラストや写真を用いて手作業をする動作を説明している。生活に密着した内容で、さまざまな道具の正しい使い方や方法が載っているが、解説が難しい面があるので、教科書として使う際には工夫が必要と思われる。

17、「ルールとマナーを学ぶ子ども生活図鑑(4)」生活に役立つ内容をわかりやすく書かれている。人とのコミュニケーションのとり方がわかりやすく説明されており、ルールやマナーを学ぶにはわかりやすい内容である。

18、「子どものマナー図鑑2 食事のマナー」自立、マナー、食事のことが見やすく読みやすく書かれている。内容は食事のマナーのことを扱っているため、教科書として扱う場合は工夫が必要である。

19、「くもんのはじめての英和辞典」アルファベットが大きく、ふりがなが振られていて見やすい。絵が多くカラーで楽しい内容である。単語ごとに例文(対話文)が載っていて、初めて持つ英語辞典としてはよいが、教科書としては工夫が必要である。

20、「せかいのおはなし1」なじみのある世界の民話が英語と日本語で記載されている。英文が長く表現が難しいため、一人で読む場合には日本語ばかりを追ってしまうことが予想される。

21、「せかいのおはなし2」なじみのある世界の民話が英語と日本語で記載されている。大きな挿し絵が全ページに掲載され、ストーリーの理解を助けている。付属CDで読み聞かせを楽しむことができるような内容になっている。英語の表現が難しいこともあり、日本語ばかりを追ってしまうことも予想されるため配慮が必要である。

次に15ページ、別紙2をごらんいただきたい。中学校特別支援学級調査委員会の審議経過等である。また参考資料として、各校研究会の研究報告をまとめた平成28年度使用中学校特別支援学級教科用図書研究報告一覧を添付している。お目通しいただければと思う。

以上で中学校特別支援学級調査委員会の答申説明を終わる。

教育長

それでは、ただいま説明があった答申内容について、各委員からのご質問、ご意見があればいただきたい。

内藤委員

委員の皆様には本当にお忙しい中、調査研究をしていただきありがとうございます。

1つ質問であるが、一般図書であるため教科書として使うときには配慮や工夫が必要であるということが多く記載されている。これはある意味当然かと感じているが、その

辺のところは現場で指導に当たっている先生方が重々ご承知の上と理解してよろしいか。

小学校調査委員会委員長

現場では、先生方が教科書として意識を持って使用している。例えば、先日、宿泊学習があったが、そのために調べ学習として使うようなこともあった。

大きな凶鑑もあるが、そういうものもしっかりと教科書としてこのように扱ったと保護者会で説明をした上で、年度末に持ち帰らせるという扱いをしている。

内藤委員

そのような点もちゃんと記載していただいている点は、大変いい調査をしていただいていると思う。ありがとう。

教育長

ほかにはよろしいか。

それでは、清水委員長と山根委員長には、お忙しいところ、おいでいただきご説明をいただき本当にありがとう。また、調査委員会でもいろいろ御苦労があったと思うが、本当にありがとう。ほかの委員さんにもぜひよろしくお伝えいただきたい。

それでは、これでご退室いただく。

清水小学校調査委員会委員長・山根中学校調査委員会委員長 退室

教育長

それでは、これから教育委員会としての審議に入る。各委員におかれては、机上に配置した見本本のご点検をお願いしたい。その後、採択を行いたいと思う。よろしく願います。

各委員 見本本の点検